

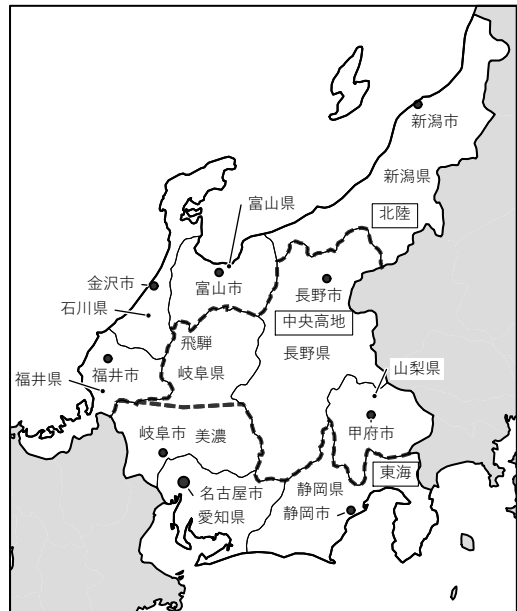
中学2年 社会 授業用プリント ② 日本の諸地域（中部地方）

1 全体像	2・3 自然	4～6 東海	7～9 中央高地	10・11 北陸	12 まとめ
-------	--------	--------	----------	----------	--------

1 この単元の全体像 — 中部地方の産業を支える条件は？

このページのゴール 中部地方の9つの県と3つの地域、この単元で学ぶ産業を、ざっと言える

九州地方は「自然環境」、中国・四国地方は「交通・通信」、近畿地方は「人口や都市・村落」が中心でした。中部地方は「産業」が中心です。自然の条件と社会の条件が、産業をどう支えたかを見ます。



地圖：Natural Earth

数で見る中部地方	数
9県の人口（1ページ）	約2,042万人（2025年。全国の約17%）
名古屋市の人口（愛知県の県庁所在地）	約235万人（2025年。日本の市で3位）
愛知県の製造品出荷額等（4ページ）	約59.3兆円（2024年。全国1位）
信濃川の長さ（2ページ）	367km（日本でいちばん長い川）
富士山の高さ（2ページ）	3776m
新潟県の米の収穫量（10ページ）	全国1位（2025年産）

人口は東海に集まる 9県で人口が最も多いのは愛知県（約745万人。全国4位）で、次が静岡県（約347万人）です。2県で9県の人口の半分をこえます（約53%。2025年）。工場や港の多い東海に人が集まっています。9県とも2020年より人口が減りました。三重県は近畿地方で学びました。

3つの地域	県	自然のようす	主な産業（くわしくは）
北陸	新潟・富山・石川・福井	日本海側。冬に雪が多い	米づくり・伝統産業と地場産業（10・11ページ）
中央高地	山梨・長野・岐阜の北部	高い山と盆地。1年の降水量が少ない	果物・高原野菜・精密機械と情報機器・観光（7～9ページ）
東海	静岡・愛知・岐阜の南部	太平洋側。冬も比較的暖かい	自動車などの工業・施設園芸・茶・漁業（4～6ページ）

この単元の問い 中部地方の産業は、どのような条件に支えられて発展してきた？（答えは12ページ）

注意 × 中部地方でいちばん人口が多いのは新潟県 → 愛知県（約745万人。2025年）

合言葉 「北陸・中央高地・東海、3つの地域に9つの県」

この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/%e3%80%90%e4%b8%ad2%7a4%be%4bc9a%e3%83%bb%5e9%5c%b0%e7%90%86%e3%80%91%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e8%ab%b8%e5%9c%b0%e5%9f%9fe) <https://katekyo-note.com/%e3%80%90%e4%b8%ad2%7a4%be%4bc9a%e3%83%bb%5e9%5c%b0%e7%90%86%e3%80%91%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%ae%e8%ab%b8%e5%9c%b0%e5%9f%9fe>

2 中部地方の地形には、どんな特色がある？

このページのゴール 日本アルプスと、主な川・平野・盆地・半島を地図で言える

飛驒山脈（北アルプス）・木曽山脈（中央アルプス）・赤石山脈（南アルプス）をまとめて日本アルプスという（中1で学んだ）。中部地方のまん中に連なり、3000mをこえる山があるのは飛驒山脈と赤石山脈。地図の凡例「日本アルプスの山脈」が、この3つの山脈



 日本アルプスの山脈 平野・盆地 川

地圖：Natural Earth

- ① **長い川と広い平野** **信濃川**は、長野県では千曲川とよばれ、新潟県に入って信濃川となり、越後平野を流れて日本海へ注ぎます。長さ367kmで、日本でいちばん長い川です（中1で学んだ）。**越後平野**は、信濃川や阿賀野川が運んだ土砂でできた平野です。
- ② **木曽三川と濃尾平野** 愛知県・岐阜県の**濃尾平野**では、木曽川・長良川・揖斐川の3つの川（木曽三川）が網の目のようにつながって流れ、昔から洪水に苦しみました。

洪水から村を守るために、まわりを堤防で囲んだ土地を輪中という（濃尾平野の木曾三川の下流）

- ③ **盆地** 山に囲まれた平らな土地を**盆地**といいます。中央高地には、甲府盆地・松本盆地・長野盆地・諏訪盆地（諏訪湖のまわり）があります。

地域	主な地形
北陸	越後平野・信濃川・能登半島（石川県）
中央高地	日本アルプス・富士山（3776m。山梨県と静岡県の境）・甲府盆地・松本盆地・諏訪湖
東海	濃尾平野・木曽三川・天竜川・渥美半島・知多半島

自然とくらし：まん中に高い山々、その間に盆地、川の下流に広い平野がある

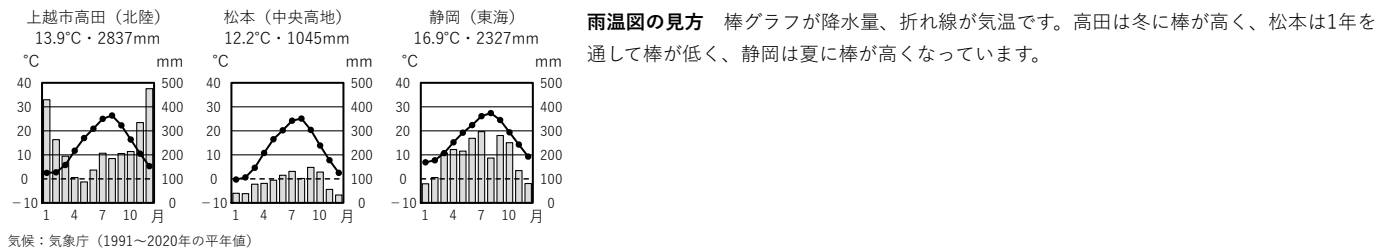
注意 × 日本アルプスの3つの山脈には、どれも3000mをこえる山がある → **3000mをこえる山があるのは飛騨山脈と赤石山脈**（木曽山脈の最高峰は約2956m）

合言葉 「まん中に日本アルプス、川は信濃川と木曾三川」

3 北陸・中央高地・東海の気候はどうか？

このページのゴール 3つの地域の気候のちがいとそのわけ、雪国のくらしの工夫を言える

季節によって吹く向きが変わる風を季節風という。日本では、冬は北西から、夏は南東から吹く（中1で学んだ）



項目（1991～2020年の平年値）	上越市高田（新潟県。北陸）	松本（長野県。中央高地）	静岡（静岡県。東海）
年平均気温	約14℃	約12℃	約17℃
年降水量	約2840mm	約1050mm	約2330mm
冬（12～2月）の降水量	約1170mm	約110mm	約270mm
1月の気温	約2.5℃	約－0.3℃	約6.9℃

気候がちがうわけ

- ❶ 北陸：冬に北西の季節風が、日本海の暖かい海流から水蒸気をたくさんふくみ、山にぶつかって雪を降らせます（中1で学んだ日本海側の気候）。高田の冬の降水量は静岡の約4倍です
- ❷ 中央高地：まわりを山に囲まれ、海から遠いので、1年の降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きくなります
- ❸ 東海：夏に南東の季節風がしめった空気を運び、夏に雨が多くなります。冬は雨が少なくなります

地下水をくみ上げて道路にまき、雪をとかす設備を消雪パイプという

雪国のくらしの工夫 地下水は冬でも約12～13℃なので、雪をとかせます。道路では1961年に新潟県長岡市が全国で初めて使いました。また、家の軒先にひさしを出して、雪の冬にも歩ける通路にした物を雁木といいます。上越市高田の雁木通りは約16kmです。

自然とくらし：北陸は冬の雪、中央高地は少ない雨と大きな気温差、東海は夏の雨

注意 × 北陸で冬に雪が多いのは、気温が低いから → 北西の季節風が日本海で水蒸気をふくみ、山にぶつかるから

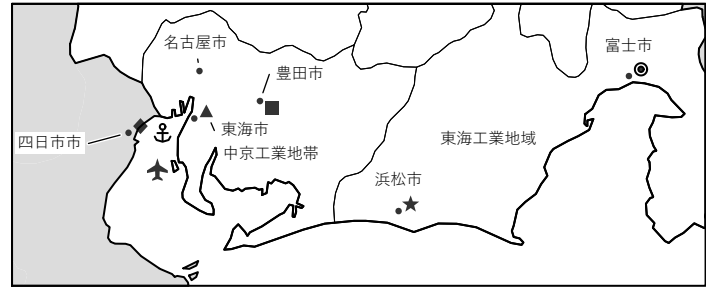
合言葉 「北陸は冬の雪、高地は寒暖の差、東海は夏の雨」

4 愛知県を中心とする中京工業地帯には、どんな特色がある？

このページのゴール 中京工業地帯で自動車工業がさかんなことと、関連工場のしくみを言える

愛知県を中心に三重県にかけて広がる工業地帯を中京工業地帯という。自動車などの機械工業が中心（中1で学んだ）

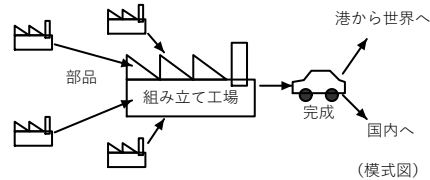
① 数で見る愛知県の工業 愛知県の製造品出荷額等（工場で作られた物の売り上げ）は約59.3兆円（2024年）で全国1位、48年連続です（静岡県は全国3位。5ページ）。業種別では、輸送用機械（自動車など）が56.7%をしめます（2023年）。



● 都市 ■ 自動車 ▲ 製鉄 ◆ 石油化学 ★ オートバイ・楽器
◎ 製紙 錨 名古屋港 飛羽 中部国際空港
工業：経済産業省 地図：Natural Earth

大きな組み立て工場に部品を納める工場を関連工場という

関連工場（部品をつくる）



- ① 愛知県豊田市には、自動車の会社の本社と工場が集まる（「クルマのまち」）
- ② 組み立て工場のまわりに、部品をつくる関連工場が集まる
- ③ 市の製造品出荷額等は約16.8兆円で全国の市町村で1位。その約93%が自動車に
関係する工場（2023年）

② 自動車のほかの工業 名古屋市の南の東海市には、海を埋め立ててできた製鉄所があり、中部で最大の鉄鋼の基地です。三重県の日知市市には、石油化学コンビナートがあります（1950年代後半から）。

産業を支える条件：組み立て工場と関連工場が近くに集まり、埋め立て地に製鉄所や石油化学の工場がある

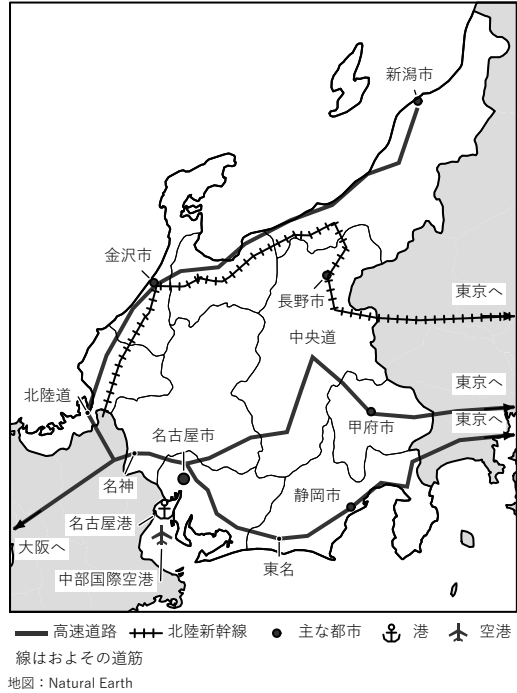
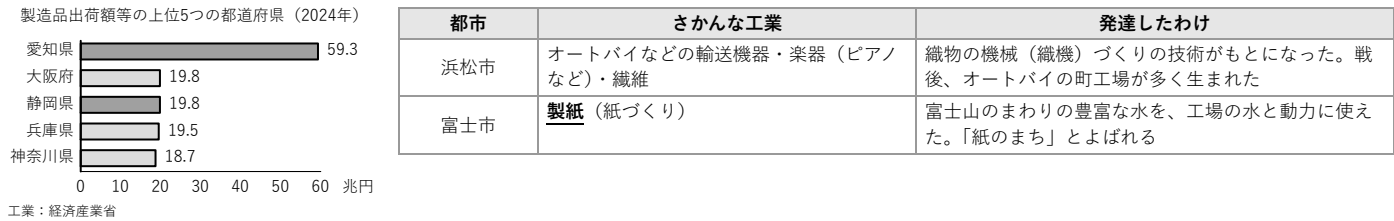
注意 × 中京工業地帯は愛知県だけ → 三重県の日知市市などもふくむ（中1で学んだ）

合言葉 「中京は自動車、部品は関連工場から」

5 静岡県の工業と、東海の工業を支える交通・貿易は？

このページのゴール 東海工業地域の工業と、高速道路・港・空港が工業を支えていることを言える

静岡県の太平洋側に広がる工業地域を東海工業地域という（太平洋ベルトの一部）



交通	中身
高速道路	名神 1965年・東名 1969年・中央道 1982年・北陸道 1994年に全線開通。新東名は2012年から
名古屋港	貨物の取扱量が日本一（24年連続。2025年）。自動車の輸出台数も日本一（47年連続。約148万台）。輸出する貨物の量の約64%が完成した自動車と部品
中部国際空港	2005年に、伊勢湾の人工島に開港
北陸新幹線	2015年に長野～金沢、2024年に金沢～敦賀が開業

- 工場から世界へ
- ① 関連工場から組み立て工場へ部品を運ぶ

② 完成した自動車を高速道路や船で国内へ運び、名古屋港から世界へ輸出する

③ 原料（液化天然ガス・鉄鉱石・原油・石炭など）は名古屋港へ輸入する

産業を支える条件：高速道路と名古屋港が、原料を入れ、製品を国内と世界へ運ぶ

注意 × 浜松市の楽器やオートバイの工業は、戦後に急に生まれた → 織機づくりの技術がもと

合言葉 「浜松はオートバイと楽器、富士は紙、名古屋港から世界へ」

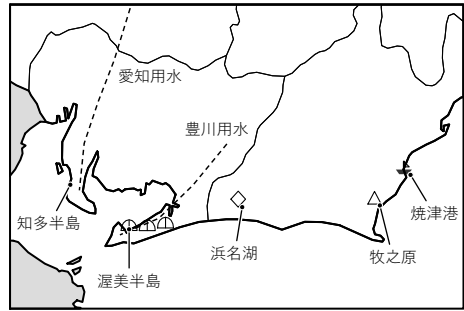
6 東海の農業・漁業は、どんな工夫で発展した？

このページのゴール 渥美半島の施設園芸と用水、牧之原の茶、焼津の遠洋漁業を、自然と交通の条件と結びつけて言える

温室やビニールハウスなどの施設で、野菜や花を育てる農業を施設園芸という

渥美半島の農業が発展したわけ

- ① 渥美半島は冬も比較的暖かいが、水不足に悩んだ
- ② 豊川用水が1968年度に全面通水し、農業用水が安定した
- ③ 温室で花や野菜を育てる施設園芸が広がり、全国有数の畑作地帯になった（愛知県の花の産出額は全国1位。2024年）
- ④ 菊は、夜に電灯で光を当てて育てる電照菊で、花の咲く時期を調整し、出荷する時期を計画している（愛知県は菊の出荷量全国1位。2024年）



△ 施設園芸 △ 茶 ◇ うなぎ 漁港 --- 用水
農業：農林水産省 地図：Natural Earth



牧之原台地の茶畑（静岡県）
写真：Saigen Jiro (CC0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

知多半島の愛知用水 大きな川が無く、ため池にたよっていた知多半島に、木曽川の水を引きました。1961年に通水しました。

遠くの海で長い期間をかけて行う漁業を遠洋漁業という

漁業 焼津港（静岡県）は、かつお・まぐろの遠洋漁業の基地です。水揚げ金額は全国のトップクラスで、2023年は全国1位でした。浜名湖（静岡県）は、明治30年代にうなぎの養殖に成功した「うなぎの養殖発祥の地」です。

牧之原の茶 静岡県の牧之原台地は、明治時代のはじめ（1869年）に、仕事を失った元武士たちが開拓して茶畑を広げました。水が少なく苦労しましたが、水を引く事業で、全国有数の茶の産地になりました。静岡県の茶の生産量は全国2位です（2025年産。1位は鹿児島県）。

産業を支える条件：用水で水不足を解決し、暖かい気候と温室を生かす。台地を開いた茶畑、遠洋漁業の港

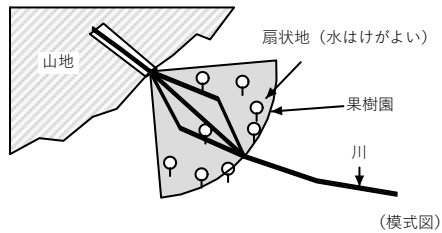
注意 × 静岡県の茶の生産量は、今も全国1位 → 2025年産は全国2位（1位は鹿児島県）

合言葉 「用水で花と野菜、台地で茶、焼津でかつお」

7 中央高地では、どんな農業がさかん？

このページのゴール 扇状地の果物づくりと、高原野菜づくりを、地形・気候・交通と結びつけて言える

川が山地から平地に出る所にできる扇形の土地を扇状地という。水はけがよく、果物づくりに向く（中1で学んだ）

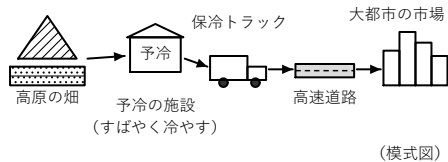


甲府盆地の果物 山梨県は、ぶどう・もも・すももの収穫量が全国1位です（2024年産）。農業産出額の約70%が果実です（2024年）。甲府盆地は、扇状地が集まってできました。ぶどうからワインをつくるワイナリーが70か所以上あり、峡東地域の扇状地の果樹農業は世界農業遺産です（2022年。近畿地方で学んだ）。

客が畑で果物をとったり買ったりできる農園を観光農園という（山梨県に200以上）

長野県の品目	順位
りんご	全国2位（2024年産。1位は青森県）
ぶどう	全国2位（2024年産。1位は山梨県）
レタス	収穫量 全国1位（2024年）

夏でもすずしい高原の気候を生かして育てる野菜を高原野菜という（レタス・はくさい・セルリーなど）



- ① ハケ岳のふもとの川上村など、標高1,000mをこえる高原は、夏でも気温があまり上がらない
- ② 暑くて平地では育てにくい夏に出荷できる（中1の地理で学んだ抑制栽培）
- ③ とった野菜をすばやく冷やし（予冷）、冷やしたまま運ぶ（保冷輸送）
- ④ 高速道路で、大都市の市場へ届ける

作物とよく育つ気温 作物には、よく育つ気温があります。月ごとの平均気温の表と見くらべると、その作物を育てやすい月が分かります。

産業を支える条件：水はけのよい扇状地、夏もすずしい高原の気候、予冷と高速道路

注意 × 扇状地は水はけが悪いので、水田が多い → 水はけがよく、果物づくりに向く（中1で学んだ）

合言葉 「扇状地で果物、高原で夏の野菜」

1 全体像	2・3 自然	4～6 東海	7～9 中央高地	10・11 北陸	12 まとめ
-------	--------	--------	----------	----------	--------

8 諏訪湖のまわりの工業は、どう移り変わった？

このページのゴール 製糸業 → 精密機械工業 → 情報機器と移り変わったわけを、戦争・自然・技術と結びつけて言える

蚕のまゆから生糸をつくる工業を製糸業という

時計やカメラのように、細かい部品を正確に組み立てる機械をつくる工業を精密機械工業という

工業の移り変わり（長野県の諏訪湖のまわり＝岡谷市・諏訪市）

- ① 明治～昭和のはじめ：長野県の岡谷市は、日本の製糸業の中心地の1つ。生糸を外国へ輸出した
- ② 1929年：世界的な不景気（世界恐慌）で、製糸業は大きな打撃を受けた
- ③ 1940年代：戦争のため、都市の工場が諏訪地域へ移ってきた（疎開＝戦争のときに、都市から地方へ工場や人が移ること）。製糸業で空いた建物と働く人を使えた
- ④ 戦後：時計・カメラ・オルゴールなどの精密機械工業が発展し、「東洋のスイス」とよばれた（スイスは時計づくりで知られる国）
- ⑤ 昭和の終わりから：プリンターなどの情報機器の工業が発展。今は細かい加工の技術を、医療・航空宇宙などに生かす

なぜ諏訪湖のまわりで？

条件	中身
自然	豊富な水ときれいな空気が精密機械に合っていた
歴史	戦争中に都市の工場が移ってきた（疎開）。製糸業で空いた建物と働く人を使えた
技術	製糸の機械を直す金属加工の技術があった

産業の移り変わりの見方 ある産業がおとろえても、建物・働く人・技術は地域に残ります。諏訪湖のまわりでは、それが次の工業に生かされました。

産業を支える条件：きれいな水と空気、戦争中に移ってきた工場、もともとあった製糸の技術

注意 × 諏訪の精密機械工業は、戦争の前からさかんだった → 戦後に発展した（戦争中の疎開がきっかけの1つ）

合言葉 「生糸から時計・カメラ、そして情報機器」

9 歴史的な町なみや山を、観光にどう生かしている？

このページのゴール 合掌造り集落と宿場町の町なみを守って観光に生かしていること、山の観光を言える



白川郷の合掌造り（岐阜県白川村）
写真：Zairon（CC BY-SA 4.0）。Wikimedia Commons より、白黒にした



中山道の妻籠宿（長野県南木曽町）
写真：DimiTalen（CC0）。Wikimedia Commons より、白黒にした

かやぶきの大きな屋根を、手を合わせたような形に組んだ家を合掌造りという

江戸時代に、街道を行く旅人が泊まったり、荷物を運ぶ人や馬を取りかえたりした町を宿場町という

白川郷の合掌造り集落を守る 合掌造りの家は、江戸時代の中ごろから昭和のはじめに建てられました。

- ❶ 戦後、ダムの建設などで集落が水にしずみ、合掌造りの家が減った
- ❷ 1971年、岐阜県白川村の荻町の住民が「売らない・貸さない・壊さない」をかかげて、守る会をつくった
- ❸ 1976年、国の重要伝統的建造物群保存地区（歴史的な町なみを国が選んで守る地区。近畿地方で学んだ）に選ばれた
- ❹ 1995年、白川郷（岐阜県）と五箇山（富山県）の合掌造り集落が世界遺産になった

場所	どんな所	守る取り組みや年
妻籠宿（長野県南木曽町）	中山道の宿場町	1968年に町なみを守る計画、1971年に住民憲章、1976年に重要伝統的建造物群保存地区
奈良井宿（長野県塩尻市）	中山道の宿場町	1978年に同じ地区に選ばれた
立山黒部アルペンルート（富山県～長野県）	全長37.2kmの山の観光ルート	1971年に全線開業。室堂平は標高2,450m
上高地（長野県）	日本アルプスのふもとの観光地	観光の時期は自家用車で入れない（バスなどに乗りかえる）

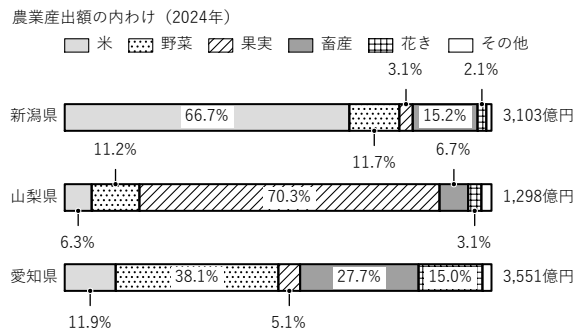
産業を支える条件：住民が町なみを守る取り組み、日本アルプスの山の自然

注意 × 妻籠宿は世界遺産 → 世界遺産は白川郷・五箇山の合掌造り集落。妻籠宿は重要伝統的建造物群保存地区

合言葉 「守った町なみが、観光の宝に」

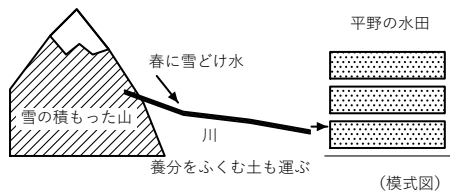
10 北陸で米づくりがさかんなのは、なぜ？

このページのゴール 雪どけ水・平野の改良・品種の3つの条件で、北陸の米づくりを言える



北陸は米の地域 北陸4県とも、農業産出額の半分以上が米です（2024年）。新潟県は米の収穫量が全国1位です（2025年産。全国の約8%）。

県（2024年）	米の割合
新潟県	約67%
富山県	約78%（4県で最も高い）
石川県	約63%
福井県	約69%



春に山の雪がとけて流れ出る水を雪どけ水という。信濃川や阿賀野川が、この豊富な水と養分をふくむ土を、平野の水田へ運ぶ

越後平野が米どころになるまで

- ① 越後平野は、昔は潟（浅い湖や沼）が多い湿地で、水はけが悪く、洪水も多かった
- ② 1922年、信濃川の水を日本海へ分けて流す大河津分水路が通水した
- ③ 用水路・排水路・ポンプを整え、昭和30年代（1955～1964年）に広く乾いた水田になった

産地と品種の名前をつけて売られる米を銘柄米（ブランド米）という

コシヒカリ 新潟県で交配し、福井県で育てて生まれた品種です。1956年に新潟県が広めました。名前は「越の国（北陸）に光り輝く」から。全国の米の作付面積で1位です（近年）。

冬の農家 冬は田で稲をつくれないので、ハウスで野菜や花をつくったり、もち・みそなどの加工品をつくったりする農家もあります。富山県では、水田を転換した畑でチューリップの球根をつくっています。

産業を支える条件：豊富な雪どけ水、水はけをよくした広い平野、よい品種

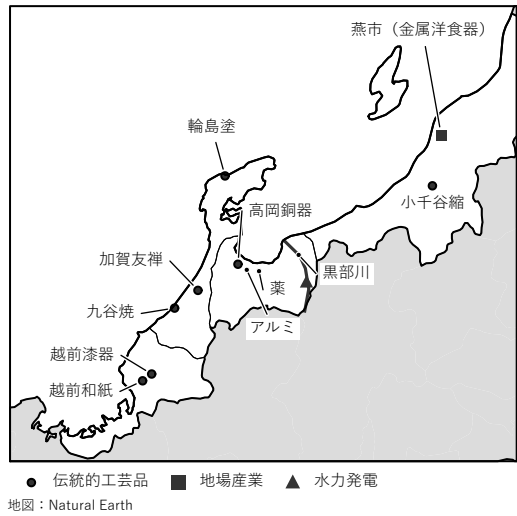
注意 × 北陸で、農業産出額に占める米の割合が最も高いのは新潟県 → 富山県（約78%。2024年）

合言葉 「雪どけ水と広い平野、北陸は米どころ」

11 北陸で、個性ある産業が発達したのは、なぜ？

このページのゴール 冬の雪・藩の保護・雪どけ水の電力と結びつけて、北陸の伝統産業・地場産業・工業を言える

国（経済産業大臣）が指定した、昔からの技術や原料で主に手作業でつくる、ふだんの生活で使う物を伝統的工芸品という（近畿地方で学んだ）



その地域に根づいて発達してきた産業を地場産業という（国の指定は要らない）

北陸の伝統的工芸品 輪島塗・九谷焼・加賀友禅（石川県）、高岡銅器（富山県）、越前和紙（福井県）、小千谷縮（新潟県）などがあります。伝統的工芸品は全国で244品目です（2025年10月）。

地震からの復興 2024年の能登半島地震で輪島塗の工房の多くが倒れ、仮設の工房で仕事が再開されました。

きっかけ	例
冬の雪（農作業ができない冬の仕事）	小千谷縮（新潟県）：冬に織ることが多く、織った布を雪の上にさらす「 <u>雪ざらし</u> 」をする。伝統的工芸品
農民の副業	燕市（新潟県）：和釘づくり → キセル・やすり → <u>金属洋食器</u> （スプーン・フォークなど。国内生産の9割以上。近年）。地場産業
藩の保護	加賀藩（今の石川県・富山県）が文化をすすめた：九谷焼・加賀友禅。伝統的工芸品
雪どけ水の電力	黒部川（富山県）の水力発電 → アルミニウムの工業（今はアルミ製品の加工が中心）
江戸時代の売り方	富山の薬：薬を家庭に置いてもらい、使った分だけ代金を受け取る <u>配置売薬</u> → 今の医薬品産業

産業を支える条件：冬の雪の間の仕事、藩の保護、雪どけ水の電力、昔からの技術

注意 × 燕市の金属洋食器は伝統的工芸品 → 国の指定は無く、地場産業

合言葉 「雪の冬に技をみがき、雪どけ水で電気をつくる」

12 中部地方の産業は、どのような条件に支えられて発展してきた？

このページのゴール 中部地方の産業と、それを支える自然の条件・社会の条件を、表にまとめて説明できる

産業	自然の条件	社会の条件（交通・歴史・人々の工夫）
東海の工業	海を埋め立てた土地。富士山のまわりの豊富な水（富士市の製紙）	組み立て工場と関連工場が近い。高速道路・名古屋港・空港。織機づくりの技術（浜松市）
東海の農業・漁業	冬も比較的暖かい気候（渥美半島）。台地（牧之原）	豊川用水・愛知用水。温室で育てる。元武士の開拓。焼津港の遠洋漁業
中央高地の農業	水はけのよい扇状地。夏もすずしい高原の気候	予冷と保冷輸送。高速道路で大都市の市場へ
中央高地の工業	きれいな水と空気	戦争中に移ってきた工場（疎開）。製糸の機械を直す金属加工の技術
中央高地の観光	日本アルプスの山の自然	住民が町なみを守る取り組み（白川郷・妻籠宿）
北陸の米づくり	豊富な雪どけ水。広い越後平野	大河津分水路などの整備。よい品種（コシヒカリ）
北陸の伝統産業・地場産業と工業	冬の雪。黒部川の雪どけ水	藩の保護。昔からの技術。水力発電の電気。配置売薬

3つの地域をくらべる

地域	中心の産業	主な条件
東海	自動車などの工業・施設園芸・茶・漁業	交通（高速道路・名古屋港）と、用水を引く人々の工夫
中央高地	果物・高原野菜・精密機械と情報機器・観光	扇状地と高原の気候、戦争中に移ってきた工場、町なみを守る取り組み
北陸	米づくり・伝統産業と地場産業・工業	冬の雪と雪どけ水

この単元の問いの答え

- ① 自然の条件：日本アルプスの山と雪どけ水、扇状地・高原・広い平野、地域ごとにちがう気候
- ② 社会の条件：高速道路・港・空港などの交通、戦争中の工場の疎開、藩の保護、昔からの技術
- ③ 人々の工夫：用水を引く、温室で育てる、予冷して運ぶ、町なみを守る
- ④ だから中部地方では、3つの地域ごとに個性ある産業が発達してきた

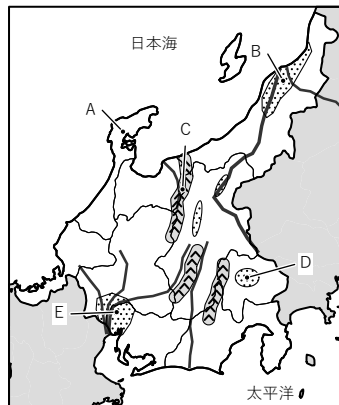
次は関東地方を学びます。

合言葉 「自然と交通と人の工夫が、中部の産業を支える」

確認問題① 地形・気候と雪

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 地形について、次の問いに答えなさい。【2ページ】



地図：Natural Earth

図のA～Eにあてはまる名前を書きなさい。Aは半島、Bは平野、Cは山脈、Dは盆地、Eは平野です。

- (1) A _____
- (2) B _____
- (3) C _____
- (4) D _____
- (5) E _____

- (6) 中部地方のまん中に連なる3つの山脈を、まとめて何といいますか。 _____
- (7) 長野県では千曲川とよばれ、新潟県に入って名前を変えて日本海に注ぐ、日本でいちばん長い川を選びなさい。
ア 木曽川 イ 信濃川 ウ 天竜川 _____
- (8) 洪水から村を守るために、まわりを堤防で囲んだ土地を何といいますか。（ひらがなでもよい） _____

2 気候と雪について、次の問いに答えなさい。【3ページ】

- (1) 北陸で冬に雪が多いわけとして正しい文を選びなさい。
ア 南東の季節風が、太平洋から水蒸気を運ぶから イ 冬の気温が、日本でいちばん低いから ウ 北西の季節風が、日本海で水蒸気をふくみ、山にぶつかるから

- (2) 中央高地の気候として正しい文を選びなさい。
ア 1年の降水量が少なく、夏と冬の気温の差が大きい イ 冬の降水量が多く、雪が深くつもる ウ 夏に雨が多く、冬も暖かい

- (3) 上越市高田（新潟県）の冬（12～2月）の降水量は、静岡の約何倍ですか。（1991～2020年の平年値）
ア 約2倍 イ 約4倍 ウ 約8倍 _____
- (4) 地下水をくみ上げて道路にまき、雪をとかす設備を何といいますか。 _____
- (5) 家の軒先にひさしを出して、雪の冬にも歩けるようにした通路を何といいますか。（ひらがなでもよい） _____

確認問題② 東海の工業と農業

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

3 東海の工業について、次の問いに答えなさい。【4・5ページ】

- (1) 愛知県を中心に三重県にかけて広がる、自動車などの機械工業が中心の工業地帯を何といいますか。 _____
- (2) 大きな組み立て工場に部品を納める工場を何といいますか。 _____
- (3) 愛知県の製造品出荷額等（2024年）の順位として、正しい物を選びなさい。
ア 全国3位 イ 全国1位 ウ 全国5位 _____
- (4) 浜松市でさかんな工業の組み合わせとして、正しい物を選びなさい。
ア オートバイ・楽器 イ 鉄鋼・石油化学 ウ 時計・カメラ _____
- (5) 富士山のまわりの豊富な水を生かして発達した、富士市の工業を選びなさい。
ア 鉄鋼 イ 石油化学 ウ 製紙 _____
- (6) 名古屋港が47年連続で日本一になっている物を選びなさい。
ア 米の輸出货量 イ 衣類の輸入量 ウ 自動車の輸出台数 _____

4 東海の農業と漁業について、次の問いに答えなさい。【6ページ】

- (1) 温室やビニールハウスなどの施設で、野菜や花を育てる農業を何といいますか。 _____
- (2) 用水と、その水を引いた半島の組み合わせとして、正しい物を選びなさい。
ア 豊川用水は知多半島、愛知用水は渥美半島 イ 豊川用水も愛知用水も渥美半島 ウ 豊川用水は渥美半島、愛知用水は知多半島 _____
- (3) 遠くの外で長い期間をかけて行う漁業を何といいますか。 _____
- (4) かつお・まぐろの水揚げが多い、静岡県の漁港を選びなさい。
ア 名古屋港 イ 焼津港 ウ 新潟港 _____
- (5) 明治30年代にうなぎの養殖に成功した、静岡県の湖を選びなさい。
ア 浜名湖 イ 諏訪湖 ウ 琵琶湖 _____

5 中央高地の農業について、次の問いに答えなさい。【7ページ】

- (1) 川が山地から平地に出る所のできる、扇形の土地を何といいますか。 _____
- (2) (1)の土地で果物づくりがさかんなわけとして、正しい文を選びなさい。
ア 水がたまりやすく、水田に向くから イ 水はけがよいから ウ 1年じゅう雨が多いから _____
- (3) 山梨県が収穫量全国1位（2024年産）の果物の組み合わせとして、正しい物を選びなさい。
ア ぶどう・りんご イ りんご・もも ウ ぶどう・もも _____
- (4) 客が畑で果物をとったり買ったりできる農園を何といいますか。 _____
- (5) 夏でもすずしい高原の気候を生かして育てる野菜を何といいますか。 _____
- (6) とった野菜を、運ぶ前にすばやく冷やすことを何といいますか。
ア 予冷 イ 保冷輸送 ウ 冷凍保存 _____

確認問題③ 中央高地と北陸の産業

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

6 中央高地の工業と観光について、次の問いに答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 蚕のまゆから生糸をつくる工業を何とといいますか。 _____
- (2) 1940年代に、都市の工場が諏訪地域へ移ってきたわけを選びなさい。
ア 大きな洪水のため イ 戦争のため ウ 大きな地震のため _____
- (3) 戦後、精密機械工業が発展した諏訪・岡谷のよび名を選びなさい。
ア 東洋のスイス イ 天下の台所 ウ 東洋のマンチェスター _____
- (4) かやぶきの大きな屋根を、手を合わせたような形に組んだ家を何とといいますか。 _____
- (5) 江戸時代に、街道に行く旅人が泊まった町を何とといいますか。 _____
- (6) 富山県と長野県を結ぶ、全長37.2kmの山の観光ルートを選びなさい。
ア 上高地 イ 熊野古道 ウ 立山黒部アルペンルート _____

7 北陸の米づくりについて、次の問いに答えなさい。【10ページ】

- (1) 北陸4県で、農業産出額（2024年）にしめる米の割合が最も高い県を選びなさい。
ア 新潟県 イ 富山県 ウ 福井県 _____
- (2) 春に山の雪がとけて流れ出る水を何とといいますか。 _____
- (3) 越後平野の水はけをよくした、信濃川の水を日本海へ分けて流す水路を選びなさい。
ア 豊川用水 イ 愛知用水 ウ 大河津分水路 _____
- (4) 産地と品種の名前をつけて売られる米を何とといいますか。 _____
- (5) 新潟県で交配し、福井県で育てて生まれた、全国の米の作付面積で1位（近年）の品種を何とといいますか。 _____

8 北陸の産業について、次の問いに答えなさい。【11ページ】

- (1) 国が指定した、昔からの技術で主に手作業でつくる、ふだんの生活で使う物のよび名と、石川県の例の組み合わせとして、正しい物を選びなさい。
ア 伝統的工芸品・輪島塗 イ 世界遺産・輪島塗 ウ 伝統的工芸品・白川郷 _____
- (2) その地域に根づいて発達してきた産業を何とといいますか。国の指定は要りません。 _____
- (3) 新潟県燕市で、国内生産の9割以上（近年）をつくっている物を選びなさい。
ア 九谷焼 イ 金属洋食器 ウ 越前和紙 _____
- (4) 冬に織ることが多く、織った布を雪の上にさらす、新潟県の織物を選びなさい。
ア 加賀友禅 イ 高岡銅器 ウ 小千谷縮 _____
- (5) 黒部川の水力発電の電気を使って発達した工業の、つくる物を選びなさい。
ア アルミニウム イ 自動車 ウ 鉄鋼 _____
- (6) 江戸時代から、薬を各家庭に置いてもらい、使った分だけ代金を受け取る売り方を何とといいますか。 _____

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

中部地方の9県と3つの地域（1ページ）

北陸＝新潟県（新潟市）・富山県（富山市）・石川県（金沢市）・福井県（福井市）／中央高地＝山梨県（甲府市）・長野県（長野市）・岐阜県の北部／東海＝静岡県（静岡市）・愛知県（名古屋市）・岐阜県の南部（岐阜市）。人口 約2,042万人（2025年。全国の約17%）。愛知県は約745万人で全国4位。名古屋시는約235万人で日本の市で3位。

地形・気候と雪（2・3ページ）

日本アルプス（飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈。3000mをこえる山があるのは飛騨山脈と赤石山脈）・富士山（3776m）・信濃川（千曲川。367km）・越後平野・濃尾平野と木曾三川・輪中・甲府盆地などの盆地・能登半島。

冬は北西の季節風で北陸に雪。中央高地は降水量が少なく気温差が大きい。東海は夏に雨が多い。高田の冬の降水量は静岡の約4倍。消雪パイプ（1961年に長岡市で初めて道路に）・雁木。

東海の工業と交通（4・5ページ）

中京工業地帯（愛知県・三重県）。愛知県の製造品出荷額等 約59.3兆円（2024年。全国1位。48年連続）。豊田市の自動車と関連工場・東海市の製鉄所・四日市市の石油化学コンビナート。東海工業地域（静岡県）＝浜松市のオートバイと楽器・富士市の製紙。名古屋港（貨物の取扱量・自動車の輸出台数が日本一）・中部国際空港（2005年）・高速道路・北陸新幹線。

東海の農業と漁業（6ページ）

施設園芸・豊川用水（1968年度。渥美半島）・愛知用水（1961年。知多半島）・電照菊（愛知県の花は全国1位。2024年）・牧之原の茶（静岡県は全国2位。2025年産）・遠洋漁業と焼津港・浜名湖のうなぎ。

中央高地の農業（7ページ）

扇状地（水はけがよく果物づくりに向く）・山梨県はぶどう・もも・すももが全国1位（2024年産）・観光農園・長野県のりんご・ぶどう（全国2位）・高原野菜・予冷・保冷輸送。

中央高地の工業と観光（8・9ページ）

製糸業（岡谷市）→ 1929年の世界恐慌 → 1940年代の疎開 → 戦後の精密機械工業（東洋のスイス）→ 情報機器。合掌造り（白川郷と五箇山。1995年に世界遺産）・宿場町（妻籠宿・奈良井宿）・重要伝統的建造物群保存地区（1976年に白川郷の荻町と妻籠宿）・立山黒部アルペンルート・上高地。

北陸の米づくり（10ページ）

雪どけ水・大河津分水路（1922年）・北陸4県は農業産出額の半分以上が米（富山県が約78%で最も高い。2024年）・新潟県は米の収穫量が全国1位（2025年産）・銘柄米・コシヒカリ。

北陸の伝統産業・地場産業と工業（11ページ）

伝統的工芸品（輪島塗・九谷焼・加賀友禅・高岡銅器・越前和紙・小千谷縮）・地場産業（燕市の金属洋食器）・雪ざらし・藩の保護・黒部川の水力発電とアルミニウム・富山の薬（配置売薬）・能登半島地震（2024年）。

合言葉 「北陸・中央高地・東海、3つの地域に9つの県」／「まん中に日本アルプス、川は信濃川と木曾三川」／「北陸は冬の雪、高地は寒暖の差、東海は夏の雨」／「中京は自動車、部品は関連工場から」／「浜松はオートバイと楽器、富士は紙、名古屋港から世界へ」／「用水で花と野菜、台地で茶、焼津でかつお」／「扇状地で果物、高原で夏の野菜」／「生糸から時計・カメラ、そして情報機器」／「守った町なみが、観光の宝に」／「雪どけ水と広い平野、北陸は米どころ」／「雪の冬に技をみがき、雪どけ水で電気をつくる」／「自然と交通と人の工夫が、中部の産業を支える」

確認問題の答えと解説

1【2ページ】

- (1) **能登半島**
日本海に大きく突き出た、石川県の半島。【2】
- (2) **越後平野**
信濃川や阿賀野川が運んだ土砂でできた、新潟県の平野。【2】
- (3) **飛騨山脈**
日本アルプスの北の山脈（北アルプス）。【2】
- (4) **甲府盆地**
山梨県にある盆地。【2】
- (5) **濃尾平野**
愛知県・岐阜県にある、木曾三川が流れる平野。【2】
- (6) **日本アルプス**
飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈をまとめたよび名（中1で学んだ）。【2】
- (7) **イ**
長野県では千曲川とよばれ、367kmで日本でいちばん長い。【2】
- (8) **輪中（わじゅう）**
洪水から村を守るために、まわりを堤防で囲んだ土地。（ひらがなでもよい）【2】

2【3ページ】

- (1) **ウ**
北西の季節風が日本海で水蒸気をふくみ、山にぶつかって雪を降らせる。【3】
- (2) **ア**
海から遠く山に囲まれ、降水量が少ない。1月は約−0.3℃、8月は約25℃。イは北陸、ウは東海。【3】
- (3) **イ**
冬の降水量は高田が約1170mm、静岡が約270mm。1170÷270は約4.3なので、約4倍。【3】
- (4) **消雪パイプ**
冬でも約12～13℃の地下水で雪をとかす。【3】
- (5) **雁木（がんぎ）**
軒先にひさしを出した通路。上越市高田の雁木通りは約16km。（ひらがなでもよい）【3】

3【4・5ページ】

- (1) **中京工業地帯**
愛知県を中心に三重県にかけて広がる（中1で学んだ）。【4】
- (2) **関連工場**
豊田市では、組み立て工場のまわりに部品をつくる関連工場が集まる。【4】

- (3) **イ**
約59.3兆円（2024年）で全国1位。48年連続。静岡県は全国3位。【4・5】
- (4) **ア**
織機づくりの技術をもとに発展した。鉄鋼は東海市、石油化学は四日市市。【5】
- (5) **ウ**
富士山のまわりの豊富な水を生かした「紙のまち」。【5】
- (6) **ウ**
名古屋港は、自動車の輸出台数が47年連続で日本一（約148万台）。【5】

4【6ページ】

- (1) **施設園芸**
渥美半島などで、温室で花や野菜を育てる。【6】
- (2) **ウ**
豊川用水（1968年度に全面通水）は渥美半島へ、愛知用水（1961年に通水。木曾川の水）は知多半島へ水を引いた。【6】
- (3) **遠洋漁業**
焼津港は、かつお・まぐろの遠洋漁業の基地。【6】
- (4) **イ**
焼津港は水揚げ金額が全国のトップクラス（2023年は全国1位）。名古屋港は愛知県、新潟港は新潟県の港。【6】
- (5) **ア**
浜名湖は、明治30年代にうなぎの養殖に成功した「うなぎの養殖発祥の地」。諏訪湖は長野県、琵琶湖は滋賀県にある。【6】

5【7ページ】

- (1) **扇状地**
川が山地から平地に出る所のできる扇の形の土地（中1で学んだ）。甲府盆地は扇状地が集まってできた。【7】
- (2) **イ**
水はけがよく、果物づくりに向く。【7】
- (3) **ウ**
山梨県は、ぶどう・もも・すももの収穫量が全国1位（2024年産）。りんごの1位は青森県。【7】
- (4) **観光農園**
客が畑で果物をとったり買ったりできる農園。山梨県に200以上ある。【7】
- (5) **高原野菜**
レタス・はくさい・セルリーなど。夏でもすずしい高原の気候を生かす。【7】
- (6) **ア**
予冷は、とった野菜をすばやく冷やすこと。保冷輸送は、冷やしたまま運ぶこと。【7】

6【8・9ページ】

(1) 製糸業

岡谷市は、明治から昭和のはじめ、日本の製糸業の中心地の1つ。【8】

(2) イ

1940年代、戦争のため、都市の工場が諏訪地域へ移ってきた（疎開）。【8】

(3) ア

戦後、時計・カメラ・オルゴールなどの精密機械工業が発展し「東洋のスイス」とよばれた。天下の台所は大阪、東洋のマンチェスターは明治時代の大阪のよび名（近畿地方で学んだ）。【8】

(4) 合掌造り

白川郷と五箇山の合掌造り集落は、1995年に世界遺産になった。【9】

(5) 宿場町

妻籠宿・奈良井宿は、中山道の宿場町。【9】

(6) ウ

立山黒部アルペンルートは、1971年に全線開業。上高地は長野県の観光地、熊野古道は近畿地方の道。【9】

7【10ページ】

(1) イ

富山県が約78%で最も高い（2024年）。【10】

(2) 雪どけ水

養分をふくむ土も平野へ運ぶ。【10】

(3) ウ

1922年に通水した。他の2つは愛知県の用水。【10】

(4) 銘柄米

ブランド米でもよい。【10】

(5) コシヒカリ

全国の米の作付面積で1位（近年）。【10】

8【11ページ】

(1) ア

輪島塗は石川県の伝統的工芸品。白川郷は世界遺産。【11】

(2) 地場産業

国の指定は要らない。【11】

(3) イ

国内生産の9割以上。地場産業。【11】

(4) ウ

布を雪の上にさらす（雪ざらし）。【11】

(5) ア

今はアルミ製品の加工が中心。【11】

(6) 配置売薬

富山の薬が全国に広まった。【11】